

第22回 契約・調達管理会議 議事要旨

1 開催日時

令和6年7月10日（水曜日）16時00分から16時45分まで

2 開催場所

東京都庁第一本庁舎14階 14D会議室（オンライン会議併用）

3 出席者

（1）委員（敬称略、五十音順、○委員長）

○鵜川 正樹 監査法人ナカチ／公認会計士
川口 貴史 公益財団法人東京2025世界陸上財団総務企画室財務副部長（契約・調達課長事務取扱）
滝口 広子 北浜法律事務所・外国法共同事業／弁護士
中山 正晃 東京都生活文化スポーツ局国際スポーツ事業部事業調整第一課長
三浦 大助 東京都生活文化スポーツ局事業調整担当部長
森谷 真咲 公益財団法人日本陸上競技連盟事務局経営企画部管理課長

（2）事務局

東京都生活文化スポーツ局

4 要旨

（1）開会

（2）議事（発言者の敬称略）

東京2025世界陸上競技選手権大会におけるワールド・ブロードキャスター・ミーティング及びインターナショナル・ニュース・エージェンシーズ・ミーティング開催に伴う宿泊管理等及び視察対応にかかる業務委託【資料1】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- （ア）ワールド・ブロードキャスター・ミーティング（WBM）及びインターナショナル・ニュース・エージェンシーズ・ミーティング（INAM）に係る、視察・会議等への宿泊管理等並びに会場視察に必要な車両手配及び運行管理を委託する。
- （イ）主な業務として、宿泊管理等（WBMのみ）（①宿泊予約の受付及び変更対応、②宿泊施設との調整、③宿泊料等の徴収及び精算、④査証申請代行及び申請書類の郵送）及び、車両手配及び運行管理（①車両及びドライバーの手配、②当日の運行及び運行管理を行う。

<質疑・意見など>

滝 口：人件費の単価については、厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の平均的な賃金額を参考に、価格の妥当性を確認したとのことだが、必要な人員数や期間などの人工については、どのように算出したか。

担当者：繁忙期と閑散期に分け、それぞれ実務の作業量を独自に設定した。

（３）会場運営の後発契約（実施計画策定及び運営業務委託）に向けた取組【資料２】

<説明・確認>

案件の概要について、事業担当者から主に以下を説明。

- ・総合評価方式の競争入札により事業者を選定することで、履行の品質の確保・向上を図るとともに、様々な取組により、後続契約における競争性及び公正性の確保を図る。
- 具体的には、競争性の確保に向けた取組（①入札希望者に対する先行契約の成果と活用資料の情報提供、②入札参加の促進（入札参加要件の緩和、JVでの参加、英語による案件公表）、③提案書作成期間の長期設定、④発注規模の公表、⑤財団HPや業界団体を通じた周知）、及び公正性の確保に向けた取組（①技術審査委員会の外部委員を半数以上確保、②事業者特定の防止）を行う。

<質疑・意見など>

滝 口：競争性の確保に向けた取組のうち「入札希望者に対する先行契約の成果と活用資料の情報提供」について、先行契約の受託者から協力を得られているか。

担当者：入札希望者と秘密保持契約を締結することを前提に、打合せ議事録や中間報告成果など、受託者から協力を得て十分な資料が提供されたものと認識している。

滝 口：了解した。「入札参加の促進」について、国内事業者と海外事業者の入札参加資格の扱いはほぼ同等と理解していいのか。

担当者：海外事業者については、都や国の入札参加資格名簿に登載されていないため、都の取扱いに準じて、履歴事項全部証明書や財務諸表等の資料提出を求め、財団の契約・調達会議で資格審査を行うこととしている。

鵜 川：「発注規模の公表」について、価格帯の公表を２回に分けて行う意図は。

担当者：東京都の工事案件でも同様の公表を行っており、案件公表前に広い範囲で発注規模を公表し、案件公表時に範囲を狭めた価格帯を公表する。事前に発注規模を公表することで、入札参加事業者の準備を促し、入札不調・不落のリスク回避や一層の入札参加促進を図ることができる。

（４）委員長によるまとめ

- ・契約予定案件については、契約手続きを進めていただきたい。

（５）閉会